

あわれみ

社会の中で苦しむ人びと

自分たちのまわりで、どんな人が社会の中で苦しんでいるか考えて、つぎの空白に書いてください。

イエスさまはやもめをあわれに思う

聖書にはイエスさまがいろんな不思議なことをし

たことが伝えられています。でも、イエスさまは人びとを自分に引きつけようとして行われたわけではありません。

イエスさまがいつも誰と話したり、誰と一緒にいたのかということが一番大切なことです。イエスさまはいつも社会の中で苦しめられている人のところに行って、勇気づけていました。

イエスさまがやもめのことをあわれに思ったと

聖書で伝えられています。母親と一人息子だけの二人

だけの母子家庭だったのです。母親にとっては、一人息子だけが生きがいであり、その息子が死んでしまつたら、生きていくことも無意味になるにちがいありません。今まで、女手一つで苦労して生活してきたことも、無駄になってしまうのです。イエスキさまはこのような人の姿を見ると、いてもたってもいられなくなつたのです。

私たちはイエスキさまと全く同じような行動はとれないかも知れません。でも、イエスキさまが人をあわれまれたように、私たちも人に対してあわれみを持たないといけません。

あわれみというのは、単にかわいそうだとか、同情することでもありません。相手と同じ立場に立つて、その人を一人の人間として受け入れること、対等の人間としてつきあっていくこと、そして、お互いが成長しあうことなのです。

